



定期総会を開催 会長に田中 邦夫氏

住民自治協議会の定期総会は新型コロナウイルスの感染症により3年間に渡り書面議決が続いておりましたが、本年度は、古牧小学校体育館に評議員108名が出席し開催されました。

令和5年度の会長には田中邦夫氏(北条区)が選任され、事業活動方針、事業計画、収支予算、会則・細則の一部改正及び役員選出等の審議が行われ全ての議案が承認されました。

就任あいさつ



新会長
田中 邦夫

古牧地区の皆様には、平素から住民自治協議会の活動にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

この度会長の重責を担うことになり身の引締まる思いですが皆様のお力添えをいただき精一杯務めてまいりますので、宜しくお願い致します。

古牧地区住民自治協議会が発足して15年が経過しましたが、この間、住民自治協議会を構成する12地区が連携し、誰もが住みよい、安全・安心の街づくり、思いやりとふれあいのある地域づくりを目指して、事業等に取り組んできております。

本年度は、5月8日から国の感染法上の分類でコロナ感染症が5類に移行されるのに伴い、社会活動も少しずつ再開されつつあります。住民自治協議会としましては、コロナ感染症の感染状況を勘案しながら感染防止を徹底して、古牧地区の一層の活性化のために各種事業を実施してまいります。

事業の推進、課題の解決には古牧12区の連携強化はもとより住民自治協議会の各組織、各種団体そして市行政、関係機関と連携を図り取り組みを進めてまいりますので、皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

退任あいさつ



前会長
塩入 茂

この一年、住みよい安全・安心のまちづくり、思いやりとふれあいの地域づくりを目指して事業を進めてまいりましたが、関係各位並びに住民の皆様方のご支援、ご協力のお陰で無事にこの日を迎えられることを心から感謝申し上げます。

令和4年度は、全般に災害の少ない穏やかな年でありました。北八幡川では長野市が調整池の掘り下げや護岸の高上げ工事を実施しており、流域の水害防止対策が順調に進捗しております。一方、南八幡川流域では昨年夏の集中豪雨により一部河川が氾濫して住宅に浸水被害が発生し、改めて古牧地区全体の防災対策の重要性を認識したところ

です。また、高田若槻線の渋滞緩和対策や生活道路の安全確保については、市長との対話など様々な機会を通じて古牧地区の現状を訴え改善を要望しました。

2020年から猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、ワクチンの普及や重症化率の低下により、今年5月から感染症法上の5類に引き下げられることになりました。これまで自粛や縮小、中止を余儀なくされていた様々な事業もこれからは実施可能になると思います。今後はそうした事業を通じて、住民同士の触れ合いや支え合いが密接になり、暮らしやすく幸せが実感できる地域となるよう願っています。

結びに、古牧地区の益々の発展と住民の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念して退任の挨拶とさせていただきます。

令和5年度 事業計画

【基本方針】

古牧地区住民自治協議会が発足して15年が経過しましたが、この間、住民自治協議会を構成する12地区が連携し、誰もが住みよい、安全・安心のまちづくり、思いやりとふれあいのある地域づくりを目指して、事業等に取り組んできております。

本年度は、5月8日から国の感染法上の分類でコロナ感染症が5類に移行されるのに伴い、社会活動も少しずつではありますが再開されつつあります。住民自治協議会としましては、コロナ感染症の感染状況を勘案しながら感染防止を徹底して、古牧地区の一層の活性化のために下記の各種事業を実施してまいります。

【具体的な取組み】

〈総務部、環境美化部〉

- 1 水害対策、生活道路、防災・防火・防犯・交通安全等の社会生活基盤や環境の整備・改善について長野市及び関係機関と連携して推進します。
- 2 今後予想される災害に備え、過去の災害対応を教訓にし、地域防災活動に向け「防災マニュアルの整備」、「防災指導員のスキルアップ」、「防災士資格の取得支援」、「災害対応訓練の実施と普及」に努めます。
- 3 ごみ分別の啓発、ごみステーションの改修、不法投棄防止活動、道路・公園等の美化活動を行い、地域の環境美化を推進します。
- 4 社会を明るくする運動や全戦没者追悼と非戦の誓いなどを関係機関と連携して実施します。

〈福祉健康部、子育て支援部〉

- 1 2020年度からの5カ年計画となる「第3次古牧地区福祉活動計画」に基づき、高齢者・子育てサロン活動、障がい者等希望の旅、福祉自動車運行、ボランティアセンター運営等を関係諸団体と連携して実施し、地域の皆様の幸せを目指します。
- 2 高齢者や要支援者が安心して暮らせるための持続可能な支え合いのまちづくりに向けて支え合い活動を推進します。
- 3 高齢者や要支援者の健康維持を図るため、「ほんわか健康塾」を全区に展開します。

- 4 子育て支援活動をこれからも重点的に取り組むこととし、各区の新たな取り組みを積極的に支援します。

〈防犯部、交通安全部〉

- 1 古牧地区の火災予防や犯罪防止及び交通事故防止などの生活安全の活動を積極的に取り組みます。
- 2 登下校時の子どもを守る「安全パトロール」、「見守り活動」、夜間における「防火・防犯パトロール」、交通量が多く交通事故多発交差点での「交通安全街頭指導」など、住民の生活安全活動を推進します。
- 2 防火・防犯・交通安全ポスター作品コンクールなどを通して住民の意識向上と関係機関との連携強化を図ります。

〈公民館部、青少年育成部、人権男女参画部〉

- 1 公民館活動、青少年健全育成、人権尊重、男女共同参画等の積極的な推進を図ります。
- 2 ふるさと文化芸能祭や公民館対抗球技大会等を通じて、地域の皆様が大量参加でき、顔が見えて仲間づくりができるふれあいの場の機会確保に努めます。
- 3 家庭、地域、学校、関係機関等の密接な連携を図り、「ふるさとふれあいタイムズ」の作成を通じて、世代間交流や青少年の健全な育成に努めます。
- 4 差別のない住みよい古牧を目指して、人権

研修や、男女共同参画社会の実現に向けた環境づくりを進めます。

「こまき」や「ホームページ」等で広報するとともに各区の通信員を通じて情報の提供を受け、広報・広聴活動の充実を図ります。

〈広報部〉

古牧地区住民自治協議会の活動を「ぷらネッ



防災訓練(救急法講習)
(令和4年8月開催)



地域福祉大会(ポールウォーキング講習)
(令和4年10月開催)

収支予算計画

1 一般会計

収入の部 (単位：千円)

収入総額	41,364
いきいき交付金	21,435
その他補助金・交付金	2,819
各区等の負担金等	8,096
使用料	150
雑収入(募金事務等)	545
前年度繰越金	8,319

支出の部 (単位：千円)

支出総額	41,364
事業費(5部会の事業)	14,035
事務局費	13,499
交付金・助成金	11,161
積立金	250
予備費	2,419

2 特別会計

(1) 福祉移送サービス事業

収入の部 (単位：千円)

収入総額	2,313
補助金(市社協)	510
地区負担金	1,000
雑収入	1
前年度繰越金	802

支出の部 (単位：千円)

支出総額	2,313
車両維持費	850
事務局費	430
雑費	20
自動車更改積立金	600
予備費	413

(2) ほんわか健康塾こまき事業

収入の部 (単位：千円)

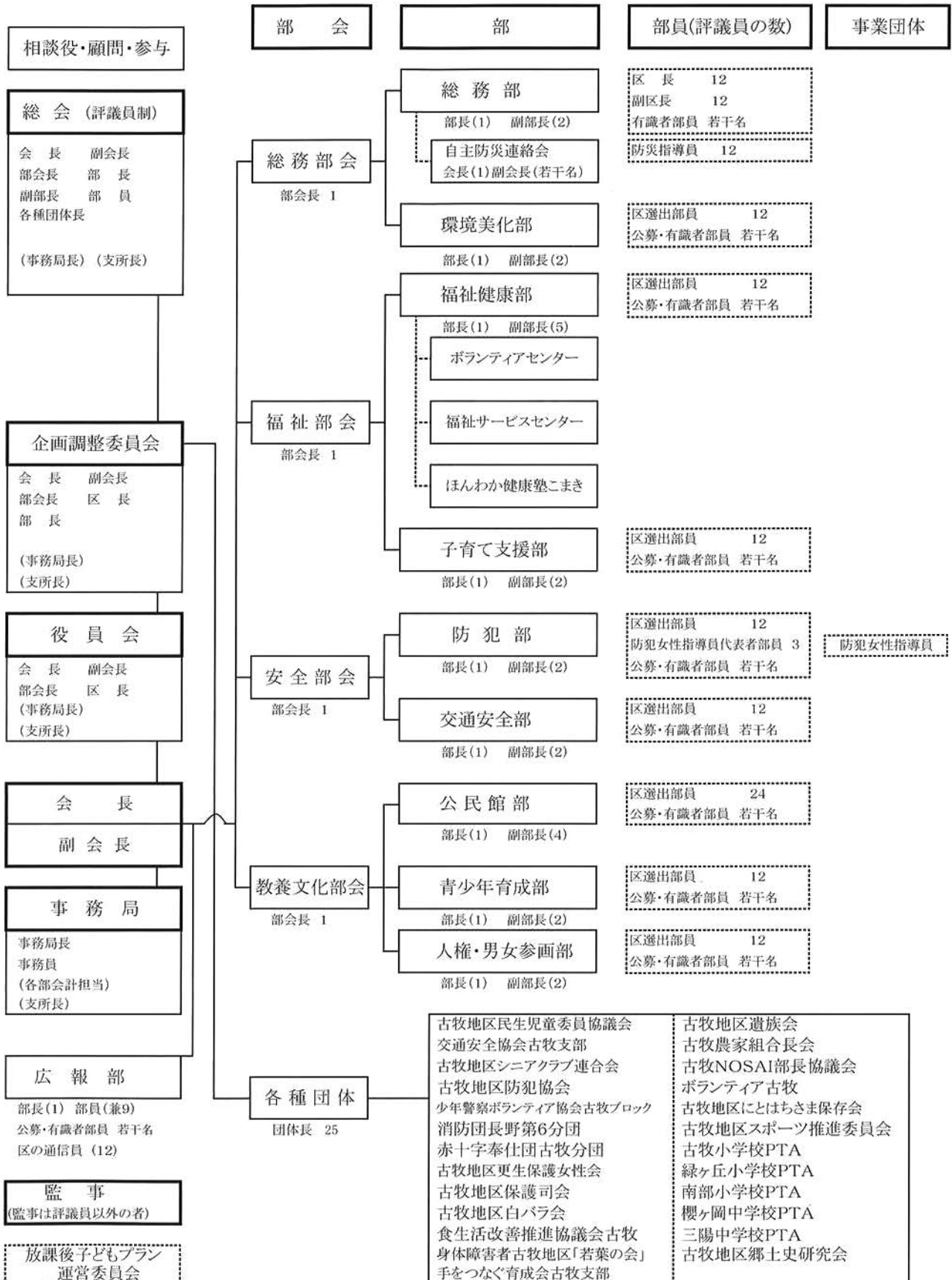
収入総額	334
補助金	42
負担金(参加者タクシー代)	72
繰入金	50
雑収入	1
繰越金	169

支出の部 (単位：千円)

支出総額	334
報償費	30
賃借料(タクシー借上)	150
需用費	50
手数料	10
会議費	65
予備費	29

令和5年度古牧地区住民自治協議会組織図

(会則第7条第3項関係)



会則及び細則の一部改正について

I 会則の改正

1 第7条第3項関係

- (1) 第7条第3項別表の各種団体「古牧地区老人クラブ連合会」を「古牧地区シニアクラブ連合会」、「身体障害者福祉協会古牧支部」を「身体障害者古牧地区「若葉の会」」に名称を変更する。

2 改正の理由

- (1) 当該の2団体から名称変更の届け出(令和4年4月1日付)があったため。

II 細則の改正

1 第9条第1号関係

- (1) 第9条第1号別表1の「古牧地区老人クラブ連合会」を「古牧地区シニアクラブ連合会」、「身体障害者福祉協会古牧支部」を「身体障害者古牧地区「若葉の会」」に名称を変更する。

※第9別表1

(改正(案))		
各種団体助成金交付額		
交付団体名	交付金額(円)	記 事
(略)		古牧地区の社会活動に貢献する団体に助成する。
古牧地区シニアクラブ連合会	20,000	
(略)		
身体障害者古牧地区「若葉の会」	20,000	
(略)		

(現 行)		
各種団体助成金交付額		
交付団体名	交付金額(円)	記 事
(略)		古牧地区の社会活動に貢献する団体に助成する。
古牧地区老人クラブ連合会	20,000	
(略)		
身体障害者福祉協会古牧支部	20,000	
(略)		

2 改正の理由

会則の改正2の(1)に同じ。

5月から6月までの主な行事実施日のお知らせ → 回覧等でお知らせします。



古牧地区の世帯数と人口

令和5年4月1日現在

11,760世帯

26,223人

(男 13,001人

女 13,222人)

■発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話259-8359・FAX219-1057)
(E-mail:komaki@vivid.ocn.ne.jp)

■発行者 田中 邦夫
■編集 ぷらネットこまき編集委員会
■印刷 SR



HP
ご覧ください